

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 竹内真三

No. 47

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を  
Share Rotary —— Serve People

1983～84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

## 第91回例会 昭和59年6月5日(火) 晴

### ◇“君が代” “奉仕の理想”

#### ◇出席報告

会員 53(54)名 出席 36名  
出席率 67.92 %  
前回 5月29日 (修正出席率)98.11 %

#### make up

浜口君(6/1港), 菊池君(5/24 東南), 木全君(5/31 瑞穂), 松居君(6/1 港), 大口君(5/24 瑞穂), 菅原君(5/30 和合), 鈴木田君(5/25 北), 鈴木編君(5/25 北), 手島君(5/24 瑞穂), 都築君(5/24 瑞穂), 鶴飼君(5/24 瑞穂)

#### ◇ビジター紹介 9名

#### ◇ニコボックス

水野民君(森パストガバナーにおいて頂き有難うございます), 新美君(本日早退させて頂きます), 竹内君(森パストガバナーをお招き出来て光栄です), 大谷君(新美君, 菅原君写真を有難うございます), 浜口君(結婚記念祝), 堀場君(結婚記念祝)

#### ◇三輪幹事報告

1. 病気療養のため長期欠席されている河合君は6月26日の例会より出席されますので御連絡申し上げます。
2. 本日例会終了後, 臨時理事会を行いますので理事役員の方はお残り下さい。
3. ロータリーの友6月号が届いておりますのでお持ち帰り下さい。
4. このたび当会員の加藤正義君の御夫人, 古川勝巳君の御夫人が亡くなりましたので御報告申し上げます。加藤正義夫人の御葬儀は6月6日(水)の午後1時よりご自宅で行われます。古川勝巳夫人の御葬儀は未定

ですので追って御連絡いたします。

#### ◇林国際奉仕委員長

1985～86年国際ロータリー青少年交換についてのご案内が届いておりますが, 実施にあたりホスト家庭の受入れ体勢が条件となりますのでよろしく御協力下さいますようお願い申し上げます。

#### ◇竹内会長挨拶

「ロータリーの友」3月号に菅野R.I.理事が「ロータリーの質について」述べておられます。簡単に紹介しますと「Rtnの質と量の関連が頻繁に論議されているがもう止めてほしい」「何故ならそれは不毛の論議だからだ」「やとと社会のRは特殊な階層の団体という誤解と偏見から脱し本来の庶民的性格が理解され今日の大をなすに至ったのだがその評価は未だ社会に受け入れられたとは云い難い」「Rの強調する“奉仕”と同義語の“思いやり, 助け合いの心”はすべての人々の共有財産である, すべての人は心の中にRの精神や活動に共感するものをもっている。これがRの普遍性であり, このRの普遍的な性格こそR発展の原動力である」「もともと等質であるべきRの世界を異質の世界にしてはいけない」「Rに於て質のいい会員とは奉仕活動に積極的に参加する会員をいうのである」「会員の選考にはこの事を念頭におくべきである」と結んでおられます。

Rに於て名門クラブという存在があるのかという問題が折に触れ私の胸中をかすめるのです。所謂名門クラブ指向についてであります。

当クラブは260地区では88番目の誕生クラブで, 清新澆刺とした新生クラブですが, 佐藤P.G.からは“東R.Cと二階建でありながらこんなにもいいメンバーで千種R.Cが成立して

いる事は親クラブとして会員増強について色々反省せねばいかん、とまで仰言って激励して頂いています。歴史こそ浅うございますがR.C.としての存在価値は逐次知られてくるであろうとメンバーに期待と自信を深めています。

僭越には存じますが特にチャーターメンバーの諸君にお願いがあります。それは千種Weekly 44号に掲載されております『もしも-----』についてであります。重複しますがお読みにならなかった方もおありでしょうから申し上げます。

- ① 若しもR.C.の会員数が20人に限定されていたら貴方はその中に果して含まれるだろうか
- ② 若しも会員資格は一年間のみ有効でその一年間R.にどの様に奉仕をしたかによって再選されるとしたら貴方は再選されるだろうか
- ③ 若しも貴方のクラブの全会員が貴方と同じ位の活動をしていたら貴方のクラブはR.I.で最も活動的なクラブになるだろうか、それとも消滅するだろうか

(情報抄録より)

千種R.C.の評価はメンバー一人一人の評価の集積に他なりません。特にリードメンバーたるチャーターメンバーの皆さんに内々で如上の3ヶ条“IF”の問いかけを自らに試みて頂きたいと存じます。生意気云々な--と仰言わないで笑ってお試し頂きたいと存じます。

奉仕活動が支柱であるR.C.は商工会議所や工業倶楽部ではありませんので財力や資産の多寡は評価されません。それでR.C.へ貢献なさるといふならば話は別ですが-----。一方、学術団体でもありませんので学歴や知識はそれ程問題にはなりません。

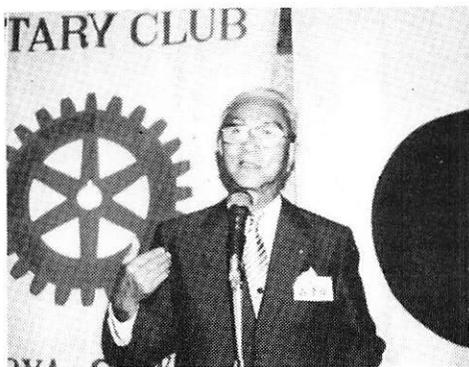
最後にRtnの価値は偏に奉仕活動に積極的に参加したかどうかによって決まる事を今一度申し上げて終ります。

#### ◆講演

“ロータリーへの私の考え方”

森 泰樹(パスト・ガバナー)

(紹介 竹内君)



まず最初にロータリーは、お互いの友情、縁、触れ合いを大切にすることから始まると思います。私のガバナーの時、東クラブを二つに分けようと努力しましたが、だいたい二階建の構想は許可にはなったものの、オーソドックスな作り方はテリトリーを分けることだと思います。ロンドンでは小さな区を二つに分けてメンバーを20名以内に絞ろうとしています。私は、名古屋クラブのように200人以上のクラブのようにビジターかメンバーか判らないようでは本当の親睦はできないと思います。当千種クラブをつくる時でもキーマンとなる人がホームクラブから移った為できたわけで、なかなかホームクラブを変えることは抵抗があり私のガバナーの時には残念ながら分けることはできませんでした。

私はこの地区で3番目にできた豊橋ロータリーに35年間在籍しております。ガバナーは大変忙しいので、なかなか仕事と両立しません。私は暇になってからゆっくりにやるものだと考えていますが、そんな訳か。ガバナーの中には医者。特に精神科医が多いです。

さて35年間のロータリー生活で、私はロータリーをこのように考えています。まず第1は友情です。ポールハリスが4人でシカゴでつくった時は4人で昼食を共にすることだけから始まりました。友情を温め合って、食事だけではいけないから何かをしようとした事が四大奉仕です。友情のエネルギーが社会にあふれ出した結果が四大奉仕であって、最初に友情があった事が大切であります。よく古いクラブでロタキチつまり規則を振りかざす人が現われてきますが、こんなウットウシいことではないのであります。はじめに友情ありきなのです。70年の歴史を持つとメンバーも沢山になります。そこで無統制ではいけないので、友情を温めあっているような奉仕をするに都合の良い規則を後から作ったわけで、はじめに規則ができたのではないことを考えていただければ、如何に規則を理解したら良いか自ずとわかるのではないかと思います。規則にあまりとらわれすぎるとナンセンスな事が多くなります。規則は幹事が良く知っていれば良いのであって、会長は規則を知っていてもなるべく考えないように、そこからハミ出す位のエネルギーがクラブに活気をもたらすのではないのでしょうか。

さて、私は国際奉仕の地区の委員長をやっております。国情の違う外国を知ることができれば何をやっても構わないと考えます。今は青少年の交換を主力で行っていますが、国際奉仕委員長会議もやりたいと思っています。各奉仕の中で一番古い奉仕活動は社会奉仕ですが、それよりもロータリーらしいのが職業奉仕だと思います。職業奉仕はつかみどころ

がなく、やりにくいかもしれませんが、考えようによってはロータリーの真髄だと思えます。職業奉仕は自分の職業を通じて社会に貢献することであり、社会の要請によって職業が成り立っているわけだから、自分の職業に精を出すこと自体、職業奉仕となるわけですが、それだけではロータリーの職業奉仕にならないと思えます。やはり、ロータリー的に職業奉仕を考えなければいけないと考えます。有名なセントルイス決議の23の30に“ロータリーは自己の為に利益を得えよとする欲望と、他人に奉仕をしようとする義務感と、それに伴う衝動との間に常に起る争いを解決させようとする人生の哲学である。”が良く職業奉仕を表わしています。昔の職業奉仕のパンフレットにこのような挿話があります。ニューヨークのあるロータリアンの機械屋がロンドンへ機械を売りに行き、得意先に値切られ、腹の中で材質を落とせばペイしないことはないと考え契約を結びました。その帰り道、ボンドストリートで生地を買い、他の有名な洋服屋へ仕立てに行ったところ、そのテーラーは「この生地では、私の店のブランドをつけて作るわけにいかない。我が店の伝統に傷がつく。」と断られました。そこでその機械屋は、先程の機械の契約のことを反省し、得意先へ戻って「さっきは材質を落とせばあの値段で機械をつくれはないことはないと思ひ契約したが、あれでは良い機械がつかれないので契約を破棄して下さい。」と頼みました。その得意先は「その精神なら貴方の言い値で買います。」と契約がうまくいったという実話です。こういう気持を一貫して職業奉仕の中に織り込みながら日常の仕事をしていくことが必要だと思えます。特別な事をやるのではなく、ロータリー的に誠意をつくしてやるのが大切なのです。昨年、大阪で職業奉仕の会議があり、パネラーとして出席しました。その席で「メンバーで倒産して退会した人がいるが、これに対し我々は何も手を出してあげることができない、これで良いだろうか」という質問が出ました。それに対し、私は「ロータリーは倒産した人に金銭的援助を差しのべる事をするような会ではない。しかし、その人がそのような状況になるまで仲間の会員が日頃の例会で見過していたということは、そのクラブに親睦・友情がないのではないか。事前に仲間が察知して声をかけてやれば、クラブの誰かが力になってやれる筈である。」と答えました。ロータリー・友情とはそういうものだと考えます。

ガバナー時代、私は「ロータリーは、ゆとりであり遊びである。」と機会ある毎に会報等で書きました。一部の誤解もありましたが今でもそう考えております。ロータリーは皆職業

が違い、競争意識もありません。忙しい仕事の合い間を抜け出してきて、ホッとすると、そこには何もかけひきがない。そのゆとりがロータリーであると思えます。ホッとするとあるから勉強会以外はあまり議論を闘わせる必要はない、ロータリーはエンジョイしなければ意味がないのです。どうか当千種クラブも、ゆとりのあるクラブに育てたいと思えます。このようエンジョイしながら我々は奉仕を行うわけですが、思い上がり、我々のエネルギーを過信しないまでも、何かしなければならぬのは確かです。

最後に一つの説話を述べて終りとします。インドのジャータカ経の中に「釈迦がオウムだった頃、ある所に山火事があり小鳥達が焼かれ苦しんでいるところをオウムが通りがかり、横の池で自分の身体を浸し、火に水をかけに行きます。火が消えるかどうかは判らないが何度も何度も繰り返して水をかけに行く。」オウムが地獄を見てそうしなければいけなかった、その心が必要ではないでしょうか。

当クラブは出来て間がないクラブです。どうか初めが肝心です、豊かな楽しいクラブに成長されんことを祈ります。(文責 宮尾)

◆1985-86年◆

国際ロータリー青少年交換について

- 1985年4月～86年3月  
1か年交換 4～5名  
(1)交換先 D. 957.963.975.983地区 (オーストラリア)の予定  
(2)対象 出発時16～18才の男女高校生
- 1985年8月～86年3月  
1か年交換 10～11名  
(1)交換先 D. 502.503.539.550.552.555.595.633.730 各地区(アメリカ、カナダ)及び464(ブラジル)の予定  
(2)対象 出発時16～18才の男女高校生
- 1985年7月15日～8月30日(予定)  
夏期約1ヶ月半 5名  
(1)交換先 D667地区(アメリカ)の予定  
(2)対象 出発時16～20才の男女高校生及び大学1年生

※推せんクラブは来日学生を同数受入れることが条件となりますのでホスト家庭になって頂ける方はお申し出下さい。  
申込期日 7月25日まで  
(国際奉仕委員長 林 淳三)

—— 第17回ゴルフ会成績 ——

(5/25多治見C.Cにて)

R	NAME	O	I	G	H <sub>p</sub>	NET
優勝	加藤大豊	51	48	99	26	73
2位	木全 昭	45	44	89	16	73
3位	久保田 皓	41	43	84	7	77
4位	松居 敬	41	46	87	9	78
5位	原 富士雄	53	53	106	28	78
B.B	水野 民也	61	66	127	40	87

(参加 12名)

※次年度ゴルフ会幹事に永井正義君が就任されることになりましたので御報告申し上げます。(ゴルフ会幹事 松居)

◆中国残留孤児援護基金に寄付

3月より千種ロータリークラブ単独で善意を呼びかけておりましたが、5月末で39万円となり援護基金に送付いたしました。皆様の御協力に厚く御礼申し上げます。

◆事業所移転のお知らせ

会 員 松居 敬二 君  
移 転 日 昭和59年6月13日 (水)  
新事業所 〒460 名古屋市中区新栄町2-13  
第一生命ビル  
松安産業㈱  
TEL 951-1661

◆5月度理事役員会議

1. 新入会員候補者承認の件
2. 名古屋東RC25周年記念(6/18)の件
3. ユニバーシアード神戸大会募金の件

◆スケルトンRI会長より地区ガバナー宛の書翰要約

全地区ガバナー各位 1983.2.16.  
拝啓

私達のチームとしての年度はまだ4ヶ月もあり、任期の3分の1の残余期間があります。皆様からの報告書を拝見いたしますと、これまでに達成された業績の数々が非常に有意義で立派なものであり、それらの成果を知り、誠に嬉しく思う次第です。

1983-84年度における現在までの達成報告は次の通りです。

クラブ数----- 20,457(純増270)  
新クラブ数 --- 281  
CENAEM---42 USCB----- 64  
ANZAO ---27 GB&I----- 10  
ASIA ----84 SACAMA--- 54  
ロータリアン数---982,500(純増6,430)

クラブ会長へのR.I.会長賞 ---250

ガバナーへのR.I.会長賞 ----- 2

財団への寄付 --- 10,956,737ドル

財団寄付の増加率 20.9%

新しいクラブの結成に当り、皆様に援助されご尽力下さったロータリアンの方々に対し、会長賞を授与して表彰することを忘れてはならないのであります。

皆様の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

敬 具

ウィリアム E. スケルトン

注) 全ての地区は、地域的に六つのロータリー地域に区分される。

GB&I イギリスとアイルランド  
CENAEM 欧州大陸、北アフリカ、東地中海地域  
ASIA アジア  
SACAMA 南米、中米、メキシコ、アンティラス諸島  
USCB アメリカ合衆国、カナダ、バーミューダ、プエルトリコ  
ANZAO オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ(地中海沿岸の国と地域を除く)及び他のグループに含まれない所

◆ロータリー財団Glenn氏より当260地区宛の書翰要約

貴地区の寄付累計が1982年12月の累計に比べ増加いたしました事をお祝申し上げます。

1983年12月31日現在の記録によりますと、この半期を通じての累計は\$28,985の上昇を見ております。今後共立派な成績を維持されますことを期待いたします。

◆青少年交換プログラムについての調査報告

1982-83ロータリー年度期間中、国際的青少年交換はロータリーの最も一般的且つ成功したプログラムの一つとして続けられ、ハイスクールの年令の青少年の数を増やし、彼らにこの世界を構成している沢山の異った文化の一つを経験する機会を与えてきました。RIに報告されたところによれば、1982年7月1日から1983年6月30日までの間に6810名<sup>※</sup>の若者が、336の地区(世界中の地区数の82%)のロータリー・クラブによって行なわれた青少年交換プログラムに参加しました。これらの若者は次の54カ国からの参加であります。

アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、バーミューダ、ボリビア、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、コスタ・リカ、デンマーク、ドミニカ、エクアドル、エジプト、フィンランド、フランス、ドイツ、イギリス、ギリシャ、ホンデュラス、香港、アイスランド、インド、インドネシア、アイルランド、イスラエル、イタリー、日本、ケニア、ルクセンブルグ、マレーシア、メキシコ、オランダ、ノルウェー、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、フィリピン、ペルー、ポルトガル、シエラ・レオネ、南アフリカ、韓国、スペイン、スリ・ランカ、スウェーデン、スイス、台湾、タイ、トルコ、米国、ウルグアイ、ベネズエラ、ジンバブエ。

※学生送出国と受入国の合計数は、返答率が100%に満たないために等しくなっている。

(ガバナーズレターより)

◆次回例会(6月12日)

講演 “イ・イ戦争について”  
中日新聞 社会部記者 坂井 克彦 氏  
(紹介 三輪君)

◆次々回例会(6月19日)

クラブアセンブリーの為、講演はございません。

◆例会変更のお知らせ

6月18日(月) 名古屋東RC 創立25周年記念例会の為、八勝館にて午後6時より